

ほっとCommunication

2016年 1月発行
第69号

発行 後援会
印南 宏
発行責任者 印南 宏



みなさん明けましておめでとうございます。昨年とは統一地方選挙の年でした。我孫子市においても一月に市長選挙、四月に県議会選挙、十一月には私出馬した市議会選挙が行われ、みなさんの温かいご支援のおかげで当選することができました。心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。

しかし、残念なことは、三つの選挙とも投票率は過去最低を記録しました。低投票率の要因は、選ばれる側の政党や候補者が魅力ある論戦を繰り広げる努力が足りないことや、政治（議会）の必要性を普段の生活で有権者が感じることができなくなっていることも要因の一つと考えられます。

投票率は過去最低！

特に若い世代の低投票率は大きな課題です。今年も公選法の見直しのため、夏の参議院選挙からは十八歳に選挙年齢が引き下げられます。投票率の低下は民主主義の基盤をも大きく揺るがすものと考えます。

また、我孫子市は市制施行四五周年、そして平和都市宣言してから三〇年、戦後七〇年という節目の年が重なり、昨年は年間を通して平和記念事業を拡大して実施しました。しかし、国会では安保関連法案が参議院で強行採決され、平和国家としての積み重ねが崩れ、常識が歪められることへの危機感が日増しに大きくなっています。

日本の方向を占う 大きな選挙

迎えた二〇一六年七月には、選挙権年齢が十八歳に引き下げられた参議院選挙が行われます。これからの日本の方向を占う大きな選挙です。また、世界を見ると中国経済の動向や不安定な金融システム、いつ起きても不思議ではない自然災害への対応など、十分な備

えが必要になっていきます。今、私たちのまち、我孫子市にも人口減少や高齢化の波は容赦なく押し寄せています。私は今年も現場主義を第一に、市政を担う議員の一員として行財政改革、議会改革など持続可能なまちづくりを全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

政治に無関心でも生きていけないが、政治に無関係では決して生きていけない！



◆十二月定例市議会◆

昨年十一月の選挙で当選した市議会議員が一堂に会した初めての定例市議会。

《主な議案》

・マイナンバー制度の導入に伴う特定個人情報等の提供に関し、必要な事項を

- ・ 定める議案
- ・ 地方税法等の一部改正に伴う条文の整備
- ・ 農業委員会委員の定数を定める条例
- ・ 我孫子四丁目地下式調整池築造工事の請負契約を締結する議案
- ・ 指定管理者の指定（我孫子市民プラザ、老人福祉センター、西部福祉センター、湖北地区公民館、インフォメーションセンターの五館）など
- ・ その他に二億九千四百万円を追加する補正予算案など

● 会期中に一般社団法人コンクリートパイル建設技術協会の正会員社が杭施行を行った工事において、施行データの流用等が判明した物件のうち、我孫子市内の公共施設（布佐ポンプ場）が含まれていたことが報道された。早急な現地調査を行い安全確認等の対応が急務になっていきます。

●議案第十七号「権利の放棄について」が市議会最終日に提出されました。この議案は市に寄贈された不動産に遺言者の相続人が現に居住し、引き続き居住することを希望していることから、権利を放棄するために提案されました。なお、預貯金については市への遺贈として授受することになりました。

《主な争点》

正副議長選挙／監査委員の選任／千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の人選など、人事案件が中心。

請願第一号「緊急に介護報酬の再改定を求める請願」。教育福祉常任委員会にて四対三で継続審議となり、本会議の採決でも十四対九で継続議案となりました。

正副議長選挙については、坂巻宗男氏（四五歳）並びに未来（六期）、西垣二郎氏（三四歳）清風会、三期）が二三票の満票で両人が選出されました。

監査委員は前議長の佐々木豊治氏を監査委員に選任する議案十八号、市長提案が最終日に出され、議会で同意されました。

《請願・陳情》

○請願「緊急に介護報酬の再改定を求める請願」
請願者…我孫子市青山

田中 なつみ

理由 由…二〇一五年四月の改定で大幅な引き下げとなった介護報酬により、大きな影響が出ている。

要 旨…①充実したサービスの提供ができるように緊急に介護報酬を見直すこと。②介護報酬の見直しが住民・利用者の保険料・利用料負担増につながるない措置をとること。

介護保険制度は超高齢社会を迎えた我が国の介護を社会全体で支えていくために二〇〇〇年からスタート。今日まで三カ年ごとに見直しを行い、持続可能な制度として存続させることが重要になっていきます。今回は現政府与党が制度の見直しを行い、すぐの再改定には抵抗が大きかった。結果は二七年三月議会まで「継続審議」扱いの請願となりました。



十二月議会での

印南 宏の主な賛同内容

「教育・福祉常任委員会」にて！

○小中一貫型小・中学校教育について

印南 abi・小中一貫カリキュラムの評価・見直し、教員同士の情報交換の場の拡充を、平成三一年度までに全市展開を行うにあたっての人材や学習環境整備の必要性。

○総合型地域スポーツクラブ・市内施設について

印南 超高齢社会になり、健康寿命の延伸等、スポーツの果たす役割は大きい。特に総合型地域スポーツクラブのさらなる充実・利用率向上、また五本松広場の改修等による魅力向上策の実施、印西市の環境整備事業組合の温水センターの利用料を印西市民と同額にする努力を。

○子ども貧困対策について

印南 生活困窮者自立支援法が二七年四月施行。学習支援と居場所の確保を含めた一体化事業について、対象人数と具体的な手法について。

○修学資金貸付制度・ひとり親福祉資金について

印南 利用実績がない貸付制度の充実・見直し、ひとり親福祉基金の周知・PR、必要な貸付制度になっているのか。

○認知症対策について

印南 認知症地域支援推進員の設置事業や防災無線で流される行方不明者の搜索情報のあり方、認知症サポート養成の拡大策を市職員全員が受講し、地域包括ケアシステムの構築に努めてほしい。



「予算審査特別委員会」にて!

○マイナンバー制度とセキュリティ保持について

印南 現在、本庁と我孫子行政サービスセンターで稼働中の顔認証システムの認証性能、これから各行政サービスセンターに配置する認証システム、本人確認の厳格化の徹底を。また、マイナンバーカードの普及には市民が必要とする多様なサービスをいかに提供できるのか、執行部のアイデア、努力が問われているのでは。

○東葛医療福祉センター光陽園に対する運営費補助について

印南 必要な施設であることは認めるが、運営費補助については今年度限りに限定すべきである。千葉県と東葛各市との連携、協定書の締結など。

○きらめきデイサービスの今後について

印南 高齢者の社会参加を推進し、高齢者の生きがいのある自立した生活を営むことができるように支援するきらめきデイサービス事業のさらなる強化を。また事業規則も実態に合ったものに変えるよう提言。

■宏はこう考える

これで良いのか、我孫子市は!

どうする議会改革—!
(議員定数について)

私は議会改革特別委員会の副委員長として議会基本条例の制定に努めてまいりました。全会一致で可決した議会基本条例では「議員定数の改正にあたっては、公聴会、参考人制度等を十分に活用することにより、市民の意向を把握し、本市の実情にあった定数を検討するものとする」と規定されています。

新たな市議会になり、前任期からの引継ぎ事項として、「議員定数の見直し」を今後二年以内に結論を出していくことになっていきます。具体的には今年七月頃を目途に議会報告会を開催しその内容に議員定数の見直しについて論議することを明記し、議会基本条例に基づいて、市民の意向を十分に把握し、改選後二年を目途に定数について結論を出していきたい。



* 詳細は議会だより、市議会 HP の録画等、いつでもみることができます *

<http://www.discussvision.net/abikosi/2.html>

労働相談 0120-154-052

連合千葉では専任アドバイザーを配置した労働相談を受け付けております。

◆二〇一五年十一月 市議会議員選挙◆

定数二四人に対し立候補者二八人。その内訳は、現職二〇人・元職四人・新人四人で、当選は現職一人・元職三人・新人二人が当選。現職の一人が議席を失い、当選した新人の二人はプロレスラーの澤田氏と共産党の野村氏の両氏。

投票率四四・八三% (前回五五・二五%) 三回連続で過去最低を更新。有権者数一〇万八〇三七人。最下位当選者と次点との差はわずか一〇票。

印南 宏 現在の主な役職

- 我孫子市議会 常任委員 副委員長
議会改革特別委員会 委員長
都市計画審議会 委員
成田線「あひこ未来」代表
連合千葉関係 議員団会議 前幹事長
電機連合関係 議員団会議 ブロック幹事
その他 我孫子市サッカー協会 顧問
我孫子市ソフトボール協会 顧問 など



トップ当選は前回選挙から二回連続で坂巻宗男氏、二位を大きく引き離す四千票以上を獲得。会派(グループ)構成は清風会七名(松島代表)、あひこ未来四名(印南代表)、公明党四名(木村代表)、躍進あひこ二名(佐々木代表)、共産党二名(岩井代表)、Nextあひこ二名(内田代表)、無所属三名の計二四名。印南は教育福祉常任委員に就任(二年間)、十二月議会は予算審査特別委員会副委員長として十二月補正予算の審査に努めました。

我孫子雑感

◆昨年、平和台自治会の有志ボランティアグループ(シニアサロンかえで)が十二月二三日に実施した高齢者を対象としたクリスマス会が楽しいイベントとして強く脳裏に残っている。現在、市内では一人暮らしの高齢者が急増している。一人は寂しい。楽しいひと時を、より多くの仲間と過ごす喜び、時間を共有することができたらどんなに嬉しいことだろう。これからも、このような楽しいイベントが開催できるように努めていきたい。

◆今年のお正月は暖かい好天気にお恵まれた。私は昨年亡くなった母の喪に服していることもあり、恒例の年賀行事を控えた。それでも子供たちが皆、家に帰ってくることは嬉しい。三人の子供は全員社会人となり、家を出て都内で暮らしている。会うたびに少しずつ変わっていく姿が頼もしい。今年も子供たちからお年玉を戴いた。会社を定年した私が、子ども達からいただくお年玉は嬉しく、こんな小さな出来事が幸せに感じる。迎えた二〇一六年も小さな幸せが来ることを願わずにはいられない。

◆年末年始にかけて、何冊かの本を読んだ。市議会で教育・福祉関係の常任委員会に所属した関係もあり、子どもの貧困問題、老後リスクに関する本を選んだ。本の題名は「下流老人(一億総老後崩壊の衝撃)」、「老後破産(長寿という悪夢NHKスペシャル取材班)」、「老後の真実(不安なく暮らすための新しい常識)」、「子どもの最貧国・日本」などである。日本社会にもはや中流は存在しない。ごく一握りの富裕層と大多数の貧困層である。普通の生活者が病氣や親の介護などで一転、だれでも老後の生活に息詰まるようになる。事態は深刻さを増している。現代は非正規雇用の増大、婚姻率の低下、子供がいらない家庭の増加など家族の支え合いの無い社会になっている。貧困という問題に目を背けず自分の問題として意識を変えていく必要がある。日本に貧困があることを認め、格差の是正や貧困対策を政治として本格的に打ち出していくことが急務である。若者や子どもも貧困は、その後の世代においても格差を固定していく。このままでは社会が持続できなくなっていく。政治の果たす役割は大きい。

◆新春のスポーツ、駅伝。元日の上州路、二日から三日の箱根路でも、ひたむきに走る選手の様子が感動する。特に歯を食いしばり母校のタスキをつなぐ箱根駅伝は毎年多くの感動を与えてくれる。第九二回箱根駅伝は、圧倒的な強さで青山学院大が二年連続二度目の総合優勝を果たした。復路で三人が区間賞の快走を見せ、往路に続き一度もトップの座を明け渡さなかった。全区間を首位で通過して優勝したのは第五三回大会(一九七七年)の日体大以来、三九年ぶり。地元、中央学院大が往路の遅れを復路でしっかりと取り戻し、シード権を得たことは大きい。来年もすばらしい走り、感動を見せてほしい。

◆今年は何年と違い、仕事初めの四日から通常国会が始まった。二〇一六年度予算案は一月二二日に提出、施政方針演説など本格的な審議が行われる。通常国会の争点は来年四月の消費税率一〇%への引き上げ予定を考えると「軽減税率」のあり方や環太平洋連携協定(TPP)、沖縄米軍新基地建設問題などであるが、なんとといっても今年最大の政治課題は夏の参議院選挙である。「自民党一強」の壁を、民

主党など野党が崩れていけるのか、衆参同日選挙の選択肢を首相が踏み切るのか、解散のタイミングが気になる。いずれにしても昨年六月公職選挙法改正により、選挙権は「二〇歳以上」から「十八歳以上」に引き下げられた。十八歳、十九歳の約二四〇万人の新たな有権者がどんな判断を下すのか。今後、国の方向が左右される。



宏

印南 宏 後援会・自宅

〒270-1108
我孫子市布佐平和台 7-1-18
TEL : 7189-1598



※後援会事務所の連絡先が変更になりました

E-MAIL : hiroinabiko@kca.biglobe.ne.jp
ブログ : <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
HP <http://www7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/>